

平成28年度

事業報告書

一般財団法人

東京都高等学校野球連盟

1 事業の内容

(1) 高等学校野球の普及、振興、指導および監督

①年度内に予定していた理事会は計画通り7回を実施し、ほぼ理事会実施前に常務理事会を開催。更に、各部会を開き、審議・検討を行い、健全な高校野球育成を発展に努めた。

②責任教師・監督会にて、野球要項を再度熟読し、中学生の体験入部の取扱いを確認した。また、中体連とも連携を取り、開会式での始球式も実施した。

③今年も重要課題であるフェアプレーの徹底を指導した。具体的には、加盟校の指導者、並びに部員の偵察行為を全面的に禁止した。(ビデオ撮影など)不正があった場合は、責任教師に厳しく指導した。また、バックネット裏付近での試合観戦も合わせて禁止した。学校関係者より申請があった場合撮影許可のリボンを貸与した。ほぼ周知徹底はできつつあるが、次年度も継続的にフェアプレーの精神を伝えたい。残念ながら、偵察行為をしている学校が今年も数校発覚し、学校長に報告書を提出してもらい、責任教師、監督を呼び出し厳重に注意した。野球部員への指導がなされていない学校や指導者自らの指示で偵察行為をさせている実態が垣間見られ、残念な結果となった。根気強くフェアプレーの精神を伝える必要性を強く感じた。

④不祥事件の根絶に向け、加盟校責任教師会議の席上で、加盟校への指導を行ってきた。結果は、本年度は44件(日本高野連31件、東京都高野連止まり13件)の不祥事件があり、根気よく加盟校への危機管理の認識を伝達しなければならない。不祥事件に関しては、減少傾向にあるが、根気強く、体罰のない健全な指導を今一度、周知徹底する必要がある。

⑤ホームページは、コンテンツの充実を図り、現在では定着している速報システムなどにより、スピード感を持って情報を提供した。また、高校野球ドットコムからレポート記事のリンクを実施し、サービス向上の拡大に努めた。

⑥加盟校責任教師会議においては5校を除く269校が参加。様々な懸案事項を詳細に説明し、理解を求めた。特に本年度は加盟校からの要望に応えた延長13回からのタイブレーク導入についての報告を行った。

(1) 不祥事件の根絶に向けて指導した。特にいじめや指導者の体罰に関しては重点的に説明した。高校野球の理念を今一度再認識させるとともに健全な野球部の運営・管理を指示した。

(2) 部員登録の締切りの期日を守らない加盟校が、まだまだあり根気強く継続的に理解を求めたい。

(3) 春季大会におけるタイブレーク実施の問題点と今後の展望

タイブレークに関しては、春季大会のみ実施し、12回終了後同点の場合、13回より選択打順によるタイブレークを実施した。一次予選・本大会を通じて4試合がタイブレーク適応の試合となった。ルール上の問題はなかったが、加盟校からの要望に応えた形で、本年度は13回以降のタイブレークを実施した。加盟校からはイニングについての意見が寄せられ、「延長戦があったのでタイブレーク

でも納得ができた」「春季大会なので、選手の健康管理を考えるとこのイニング（12回終了）が妥当である」などという意見が多数であった。

総合して考えるとタイブレークへの移行イニングは12回終了後からとし、しばらくの間、この規定で実施したいと考える。

次年度への重要な検討事項課題である。

⑦本年度は（公財）日本高等学校野球連盟会長の八田英二先生をお迎えして、高校野球指導者にメッセージを頂いた。高等学校野球の健全なあり方や現場指導者への日頃の苦労に対する激励の言葉、少子化を迎える現代において高校野球の抱える様々な問題など多岐にわたるものであった。明解な語り口と説得力のある発言が聴衆を魅了し、大盛況であった。

⑧加盟校が270を超え、審判員の確保には本年度も非常に苦勞した。若い世代の審判員の育成が急務である。本年度も春季大会一次予選において、学生審判の導入を実施。しかし、加盟校からは、公式戦の場において、一回の講習を受講したものが試合にジャッジをすることに疑問もあり、今年度は、受講生が試合にてジャッジすることは控えた。しかし、この学生時代に審判講習会を経験し、将来的に審判員を目指す契機になることを期待している。登録審判員も各大会の度に審判講習会を実施し、技術の向上に努めた。残念ながらいくつかのミスジャッジもあり、さらなる技術の向上と的確な判断力のある人材の育成が必要だと実感している。連盟としても、審判員の増員に向けて推薦の依頼を加盟校に呼びかけ、理事との対話のもと関連事業に取り組む必要がある。今後審判部と連携を密にして対策を検討したい。

⑨一般財団法人化に伴い、還元事業として、加盟校へは秋季大会抽選時に背番号を配布し、秋季大会一次予選時に硬式試合球3ダースを加盟校に配球した。また、本年度は一次予選の会場を受け持つブロック校には5ダースを配球した。

（2）高等学校野球大会ならびに試合の開催及び協力

①平成28年度春季東京都高等学校野球大会

一次予選は、24の会場に分かれ、202チーム（連合チームがあるため）が参加。3月13日（日）～22日（火）で実施。48の代表校が、4月1日（金）からの本大会に出場。本大会は4月1日（金）～13日間。決勝は24日（日）で、96校が神宮第二球場を含め9球場を使用し、開催。優勝校は関東第一高等学校（12年ぶり4回目）。準優勝は二松學舎大学附属高等学校。

②第98回全国高等学校野球選手権大会東西東京大会

朝日新聞東京本社と共催で、7月2日（土）から28日（木）までの20日間、神宮球場をはじめとする、東西13の球場を使用し開催。東東京大会は、関東第一高等学校（2年連続7回目）が優勝。西東京大会は、八王子高等学校（初優勝）が優勝。両校が東西東京代表として甲子園出場の権利を得た。

③平成28年度秋季東京都高等学校野球大会

一次予選は24の会場に分かれ、252チーム（連合チームがあるため）が参加。9月3日（土）～9月25日（日）で実施。64の代表校が10月8日（土）からの本大会に出場。本大会は10月8日（土）から12日間。決勝は11月3日（木）で、64校が神宮・神宮第二球場を含め7球場を使用し開催。

なお、本年度より一次予選は、代表校を昨年よりも16校増やし、64校が本大会へ出場できるように変更した。24の会場の内、8会場から2代表16校、16会場から3代表48校を決めるトーナメント方式で実施した。また、今年には明治神宮創建90年記念奉納試合があるため11月3日（木）に東京六大学新人戦終了後の14：30より決勝戦を神宮球場で行った。

優勝校は早稲田大学系属早稲田実業学校（11年ぶり10回目）。準優勝は日本大学第三高等学校。

（3）高等学校野球の調査・研究

①平成28年11月19日（土）に高校野球指導歴3年未満の講習会を実施。約25名の若い指導者に高校野球指導者としての在り方、健全な野球部の運営などの講義を行った。（公財）日本高等学校野球連盟副会長・前審議委員長の西岡宏堂先生をお招きして、高校野球指導者としての根本的な理念を講義頂いた。

②平成28年度の指導者研修会講師は（公財）日本高等学校野球連盟会長の八田英二先生をお招きして講演をいただいた。現役の高野連会長を迎え、学生野球の真の在り方や高校野球が抱える様々な問題を論理的に講演され、加盟校への励ましと高校生育成への切なる願いを込めた内容で実りある講演会であった。

（4）高等学校野球選手、部員などのスポーツ障害予防・健康増進

本年度の新たな試みとして医師の導入を行った。選手権大会の準決勝から日本大学医学部附属病院整形外科洞口先生をはじめ、慈恵医科大学付属病院の敦賀先生と田中先生にもお力添えを得て、試合中の熱中症、頭部打撲、その他のアクシデントを予測して球場でのサポートをお願いし、救急対応の危機管理を実践した。結果的に幸いにも医師のジャッジを仰ぐ事故はなかった。また、例年通り春季大会は準決勝より、選手権大会・秋季大会は準々決勝より理学療法士を球場内に常駐させ、選手のケアを行った。選手権大会には準々決勝より理学療法士の他に看護師もお願いし、選手のみならず、応援生徒や観客の熱中症対策を行った。生命に関わるような大きな事故もなく、選手の投球禁止などの適応者もなかった。次年度もこの体制で選手の健康管理には万全を期す必要性を感じた。選手・応援生徒の健康管理体制に関しては、引き続き学校と密に連絡をとり安全を第一に対応したい。

(5) 高等学校野球に関する講習会・研究会の開催

学生審判の講習会を2月21日(日)に実施した。会場校の24校から2名の学生審判を参加させ、基本となるジャッジの講習を開催した。基本的に自校での経験がある参加者が複数いたため、思っていたより高いレベルでの講習内容となった。次年度以降も継続的な取り組みを行いたい。

東京の登録審判員の講習会は3月6日(日)、6月19日(日)、8月28日(日)の3回を実施。審判員の技術向上のために積極的な参加があった。

記録員・アナウンス研修会は、6月19日(日)に実施。朝日新聞社の協力も得て、加盟校の代表校に丁寧に指導した。アナウンス研修は現役のアナウンサーが実技も踏まえて指導し、実践的な放送技術指導を行い、とても実のあるものとなった。指導者研修会は、2回実施。11月19日(土)には高校野球指導歴3年未満の講習を行った。(公財)日本高等学校野球連盟副会長の西岡宏堂先生をお招きして行った。12月3日(土)には(公財)日本高等学校野球連盟会長の八田英二先生をお招きして、様々な経験にまつわる貴重な講演をいただいた。

(6) 野球を通じた国際交流、国際相互理解の推進

本年度は国際交流試合はなし。U18アジア選手権において東京都加盟校より関東第一高等学校の米澤貴光監督が全日本のコーチとして招聘された。大会では優勝の成績を収め、来年カナダ・サンダーベイで行われるU18ワールドカップの出場権を得た。来るべく100回大会の準備として、100回大会事業準備委員会を設置し、実施した。2年後の国際試合の計画を具体的に進める時期に入った。様々な関連機関へのあいさつ等、順調に進んでいる。

(7) 高等学校野球に関する関係諸団体との協力・提携

東京都中体連、関東地区高野連、全国九地区高野連、並びに日本高野連とは密接な関係を持ちながら、各行事を遂行した。関東地区高野連とは、様々な意見交換を交わし、有意義な情報交換ができた。また、東京都中体連とも継続的な連携を維持して選手権大会の始球式も中学生に経験してもらっている。円滑な関係を保ちつつ諸団体と建設的な意見を交わし、さらなる関係構築に努めたい。

(8) その他この法人の目的達成に必要な事項

一般財団法人化に伴い、公認会計士指導の元、様々な規則の充実を図った。今後も適宜必要な事項への検討を行う。

硬式 274校 部員数約11,000名

軟式 74校 部員数約1,500名

硬式部

諸会議の状況

1、加盟校責任教師会議	5月28日(土)	1回
1、常務理事会	2月12日(金)、5月6日(金)、12月6日(火)、	3回
1、理事会	2月19日(金)、2月29日(月)、4月24日(日) 5月10日(火)、8月21日(日)、11月3日(木) 12月16日(金)	7回
1、選手権運営委員会	5月31日(火)、6月2日(木)	2回
1、選手権委員会	6月6日(月)、6月28日(火)	2回
1、抽選会	2月27日(土)、6月18日(土)、8月27日(土)、 10月3日(月)	4回
1、球場主任会議	2月19日(金)、6月6日(月)	2回
1、審判講習会	2月21日(日)、3月6日(日)、6月19日(日)、 8月28日(日)	4回
1、審判幹事会	3月3日(木)、6月16日(木)、8月25日(木)	3回
1、審判意見交換会	4月23日(土)、7月19日(火)、10月29日(土)	3回
1、評議員会	2月29日(月)	1回
1、監査	1月29日(金)、2月8日(月)	2回
1、一次予選会場校責任者会議	2月22日(月)、8月24日(水)	2回
1、開会式検討委員会	5月30日(月)	1回
1、記録員・アナウンス研修会	6月19日(日)	1回
1、審判割当会	6月25日(土)	1回
1、審判員ブロック大会中間報告会	10月5日(水)	1回
1、審判員大会中間報告会	11月13日(日)	1回
1、指導歴3年未満指導者研修会	11月19日(土)	1回
1、指導者研修会	12月3日(土)	1回
1、100回大会記念事業委員会	2月8日(月)	1回
1、白球譜編集委員会	1月26日(火)、4月17日(日)	2回

軟式部

諸会議の状況

1、記録員講習会	2月14日(日)	1回
1、審判講習会	3月20日(日)	1回
1、総会	4月3日(日)	1回
1、理事会	1月9日(土)、2月14日(日)、4月5日(日)、5月3日(火)、 6月12日(日)、8月1日(土)、9月24日(土)、12月3日(土)	8回

本連盟主催大会

春季大会	ブロック予選：3月26日(土)、27日(日)、28日(月)、 29日(火)、30日(水) 都大会：4月10日(日)、17日(日)、29日(金)、 5月3日(火)
------	---

夏季大会	7月18日(月)～8月1日(土)
------	------------------

秋季大会	支部予選：8月23日(月)、24日(火)、25日(水) 都大会：9月4日(日)、11日(日)、24日(土)、 10月9日(日)、10日(月)
------	--